

お知らせ

「防災とボランティアの日」

「防災とボランティア週間」

警防課

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、全国から数多くのボランティアが駆け付け、様々な活動を実施しました。このことが被災地の復興に向けた大きな力となったことから、災害ボランティア活動の重要性が広く認識されるようになりました。

これを契機として、平成7年12月、国民の皆さんが災害時におけるボランティア活動や地域の自主的な防災活動についての認識を深めるとともに、災害への備えの強化を図ることを目的に、「防災とボランティアの日（1月17日）」及び「防災とボランティア週間（1月15日～21日）」が創設されました。

毎年、この時期には、全国各地で講演会や展示会等の災害ボランティア活動に関する様々な普及啓発活動が行われています。本消防組合でも、消防本部及び各署で震災対応訓練を実施します。

阪神・淡路大震災の発生から今年で28年を迎えます。その後も東日本大震災を始め、全国各地で地震や風水害などの自然災害が数多く発生し、甚大な被害をもたらしました。これらの災害による被災地では災害ボランティア活動が献身的に行われています。

令和4年は、北日本から西日本で大雨となった「8月豪雨」や「台風14号」、関東を中心とした「台風15号」等、多くの自然災害が発生しました。それぞれの被災地ではボランティアによる様々な活動が行われました。



阪神淡路大震災時の活動



令和2年7月豪雨時の活動